

秋といえばお月見、中秋の名月が連想されます。今年は10月4日だそうです。

1年生の廊下には、素敵なお月見飾りがたくさん飾られています。紙皿に折り紙で折ったうさぎとお団子やススキなどのお供え物が貼られています。うさぎの折り方は、なかよし級のお兄さんとお姉さんが教えてくれました。ニコニコ笑った愛らしいうさぎばかりで、廊下を通る度、心が和みます。



前期も、残りあとわずかです。体調に気を付け、みんな揃って前期の終業式を迎えたいですね。

## ～修学旅行に行ってきました～

6年生は9月20日（水）・21日（木）と日光へ修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、大きな怪我や病気もなく、楽しい2日間になりました。一日目はバスでいろは坂を上り、奥日光の自然を満喫しました。雄大な滝や山々を眺め、そして源泉では10円玉を磨いたり、足湯に浸かたりしました。2日目の東照宮では、改修工事が終わったばかりの陽明門などを見学し、先人の技術の高さに驚き、贅を尽くした人工美を堪能しました。旅館で友達と過ごした夜も、家族の顔を思い浮かべながらお土産を選んだことも心に残る思い出になることでしょう。友達と過ごした2日間は、仲間への思いやりや感謝の気持ち、そして協力することの大切さを学ぶ良い機会になりました。

## 5年生稲づくり ～今年も立派に育ちました！～

黄金色に染まった稲が、頭を垂れています。今年も立派に実りました。夏の天候不順で、稲の生育に悪影響が出ないか心配していましたが、よく育ってくれました。5年生の児童と先生方がのんびりはもちろんのこと、毎日稲の様子を見に来てくださった地域のボランティア先生のご支援のおかげです。学校の足りない部分を補ってくださっているボランティア先生には感謝をしてもきれいなほどです。

浜見平の再開発もあり、学区もおしゃれな街に変わってきています。もう身近で田んぼを見かけることもありません。本当の米作りの大変さを実感させることはできませんが、学校での稲づくりの体験がなければ、多くの子ども達は実際の稲に触れる機会もなく、大人になってしまうのかもしれない。毎日あたりまえのように食べている主食のお米が、自然の恵みと人々のたくさんの汗と苦勞で育てられたものだということを理解し、感謝の気持ちをもてるようになってほしいと願っています。



## 西小花の会 苗の植え替え完了！

9月23日（土）に花の植え替え作業をしました。今回は家の人と一緒に参加してくれた子ども達も多く、地域の皆様、保護者の皆さん、児童、教職員がふれあいながら、和気あいあいと作業が進みました。今年は夏休みの終わりにも、先生方が花壇の草取りをしてくれたので、雑草が少なく、作業がはかどりました。花の苗の数がいつもより多かったのですが予定通りに作業が完了し、花壇はすっきり美しく生まれ変わりました。

P T Aの皆様には、これからも水やりでお世話になります。よろしく願いいたします。

地域の皆様も、地区運動会等で学校にお越しいただいた際には、ゆっくりご覧になり、お楽しみください。

## 10月6日（金）前期終業式 「家庭への知らせ」～前期を振り返り、後期の成長につなげよう～

子ども達が、「家庭への知らせ」を持ち帰ります。一緒にご覧になり、前期のがんばりを認め褒めてあげてください。そして後期に向けての励ましの言葉をかけてやってください。観点の評価や評定に目がいきがちですが、各担任が書いた所見をお読みになって、子どもたちの更なる成長につながるよう、後期具体的にどんなことをがんばればよいのかお子さんと話し合ってください。

後期の終わりに、子どもたち自身が、この一年間の自分の成長を実感できるよう私たち職員一同、学ぶことの楽しさを感じられる授業づくりに力を注いでいきたいと思います。